

進路だより

第1号 (2015年7月3日発行)

大分県立芸術緑丘高等学校
進路指導室

芸術緑丘高校音楽科を卒業した後、いろいろな仕事に就いています。一部ご紹介します。

①芸文短大から武蔵野音楽大学編入、高校教諭

福元千春

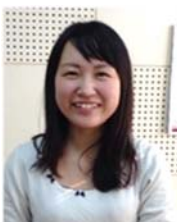


『緑丘高校で過ごした3年間は、自分を高めることができた3年間でした。巡回演奏会や定期演奏会など人前で演奏する機会が多く、自然と忍耐力や度胸が付き、仲間と共に音楽をする楽しさ、演奏できる喜び、努力することの大切さなど、音楽を通じて生きていく力を育むことができました。生活の中に身震いするほどの感動や喜び、達成感や充実感を味わうということは、なかなかできることではありません。緑丘高校

でしかできない貴重な経験となりました。卒業後の進路選択の際、「音楽をより深く学び将来は音楽の先生になりたい」と希望しましたが、経済的な理由から音大への進学は困難でした。しかし、先生方が親身になり一緒に考えて下さったおかげで、編入学という道を見つけることができました。編入学が目標にあったおかげで、短大の2年間で編入学試験に向けて有意義に過ごすことが出来、希望した音大へも進学することができました。ストレートで4年制の音大へ進学するよりも、短大を経て進学したことで自分のしたいことが明確になり、価値ある大学生活となりました。そして現在、高校教諭として音楽を教える立場となりました。緑丘高校卒業生としての誇りを持ち、音楽によって生徒の心が、そして人生が豊かになることを願い、日々生徒と向き合っています。音楽が身につくということは、人生の大きな財産であり、生きる力になります。』

②大分大学から小学校教諭

瀧田絵里



『大分県教員採用試験に現役合格し、佐伯市立上堅田小学校で教鞭を執っています。採用試験に向けて頑張ったことは、教育実習などの時期と重なっていたのでいかに時間を確保するかが重要だと考えました。私がしたことは、ご飯を早く食べて、勉強時間に当てたり、深夜まで勉強するのは苦手なので夜できない分、早朝に起きたりして勉強しました。また、勉強だけだとストレスがたまるので、思っきり遊ぶ日を決めてその日はめいいっぱい遊びました。また、これからつまずきそうになる時があるかと思います。そういったときこそ、周りの人に相談してみてください。きっと支えてくれる人が近くにいると思います。そして、最後は自分を信じて突き進んで下さい。後悔しないように精一杯努力をして下さい。応援しています。』

③武蔵野音楽大学から住友生命保険相互会社へ入社

竹本美紀

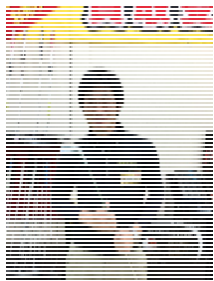


『まだ研修も続いていますが、6月から配属され現在は新橋勤務になりました。研修場所の新宿と新橋を行ったり来たりする毎日を送っています。まだ自分の営業先(ちなみに警察署です)には手続きの関係で行けてないのではっきりとは言えませんが、レッスンなどで培われた忍耐力と何事も挑戦する行動力は今役立っていると思います。多分忍耐力があるから続けられ

てると思います（笑）とにかく音楽と真逆の世界なので研修ではずっと勉強勉強で仕事を辞めたかったのですが、配属先の上司に恵まれていて何とか続けられそうです（笑）』

④福岡教育大学から一般就職、音楽との両立

家長 怜於



株式会社光興産に平成 25 年 4 月入社。

『私は緑丘高校を卒業し、福岡教育大学に入学しました。この進路選択により、今の自分があると思います。この決断は、私がチェロを始めた 5 歳の頃からのチェロの先生であり、私の高校 3 年間の担任である恩師のおかげです。正直、今の社会に於いて「演奏だけで



生活する」ということは演奏技術、人間性どちらも日本トップクラスでなければできません。幸い私は大学の 4 年間で、ソロから室内楽、九州交響楽団のエキストラなど様々な演奏の仕事を経験させてもらえました。また、自分でも沢山の演奏会を企画し、沢山の方が応援してくれました。そのような中で、演奏会企画の能力を買われ、現就職先の代表取締役に出会い、演奏への理解をしていただいた上で、普通の企業に就職しました。「なぜ音楽で生活する道を選ばなかったか？」これは、様々な人に聞かれる質問です。そして私の答えはひとつです。「チェロを続けるため、音楽を続けるため」。私の恩師はこう言ってました。「続けることでしか、分からない魅力、音楽がある」。ある程度の生活を安定させなければ、自分の心に余裕がなく、満足した音楽ができません。いつの間にか演奏することが、お金を稼ぐためだけになってしまう可能性もあります。そうならない為にも、チェロを続けるためにも、私は一般就職を選びました。今はゴルフショップの店員をしています。色々と異動があり、様々な職種を経験できる会社に就職できたので、自分の人間としてのスキルアップにもなっています。ゴルフショップでは、売上ナンバーワンの営業マンです。私は演奏会に合わせて休みがとれる契約ですので、その分仕事もしっかりしてなければ、会社に迷惑をかけてしまいます。現在でも月に平均 3 回程度の本番で演奏し、福岡や長崎など九州各地に行ってます。その分、仕事か演奏しかしてないので、休みという日はほぼありません。私のこれからの目標は、まず仕事面に関しては「任される存在になること」です。売上、利益、イベント、どんなことも私を信用してもらい、任される人間になりたいです。そして音楽面では、「上手くなること」です。とっても当たり前の目標かもしれませんが、毎日の練習時間を確保すること、毎月の本番の演奏の依頼がくること、自分に厳しくすること、この 3 つがなければ、上手くなりません。仕事との両立のなかで一番難しいことです。とにかくどんな形でも死ぬまでチェロを弾いていることが、人生の最終目標かもしれません。』

⑤国立音楽大学から台湾のオーケストラ団員

堤 由佳



『私は台湾のオーケストラに入団しフルートを吹いています。緑丘高校に入学した時の想いは今でもはっきり覚えています。窓からは先輩のレッスンの音が聴こえ、廊下には美術科の力強い作品が飾られており、各教科素晴らしい先生方の指導が受けられ、新しい環境に毎日ワクワクしていました。それと同時に、これまでの音楽が好きという枠から踏み出し、これからは音楽家になる為に学んでいくのだと強く決意をしました。個性と才能輝く友達に囲まれながら、お互いの演奏を聴いたり、意見を言い合ったり、共に目標に向け練習し、充実した毎日を伸び

伸びと過ぎました。今思うと先生方は良く私たち生徒を信頼し温かく見守って下さいました。この環境だからこそ自分としっかり向き合い、自ら考え行動する力を身に付けられたのだと思います。うまくいかない事は沢山ありましたが努力する事は楽しく、よく悩み考え、納得するまで取り組んだ三年間は厳しい音楽の世界でもタフでいられる精神を鍛えられました。オーケストラの仕事はだいたい2~3日、時には当日1回のリハーサルで本番を迎えます。その貴重な時間で一人の技量が足りないとオーケストラ全体を壊す事になります。個人で数えきれない程練習をし、より深く音楽全体を理解してリハーサルに挑みます。演奏中は常に周囲の音にアンテナを張り臨機応変に対応しなければなりません。場合によって、自分から別のパートと部分的に合わせる為にお願いしに行ったり、指揮者は海外からも来るので、普段から中国語や英語を使いコミュニケーションを積極的に取ります。これが個人の仕事と責任です。大きなプレッシャーもありますが、とてもやり甲斐があります。そうして迎えた本番でお客様の心に残る良い演奏が出来た時に初めて今までの事が報われ、音楽をやっている良かったと特別な思いで一杯になります。今の自分があるのは緑丘高校の三年間があったからです。私が受験を考えた時、県外だったので一人暮らしをする事、高校から音楽に絞る事に両親は心配していました。しかし音楽が好きな気持ちは誰にも負けないという思いを伝え、半ば強引に納得してもらい入学しました。それでも私の変わり様や生活を見て、良く理解してくれ、いつも応援してくれました。これから受験を考えている皆さん、結果ではなく、どれ程一生懸命になれるか自分への挑戦だと思って頑張ってください。そして高校では目標を持ち一步一步近づき努力をすれば、そこから得るものは必ずあります。音楽に関わらずどの世界にも通ずる、何物にも代えがたいものを必ず学べると思います。』

長榮交響樂團 (Evergreen Symphony Orchestra)



⑥芸文短大から広島大学入学、在学中

高橋佳奈子



『私は高校の教員を目指していたのですが、もっと声楽を続けたいという思いがあり、また習いたい先生がいたので芸短に進学しました。卒業後は専攻科に進もうと思ったのですが、教員免許取得のために進路を考え直すことにしました。インターネットで教員免許が取得で



きる大学の情報を探したのですが、声楽以外の楽器も勉強できることやアンサンブルの授業が充実していることから広島大学を選びました。私は国際交流にも興味があるのですが、国際交流の機会がたくさん設けられているところも広島大学の魅力の1つでした。たくさんのことが学べる分授業数がとても多く、その合間に勉強や楽器の練習をしなければいけないのでとても大変です。最近の楽しみは毎週行われる留学生との昼食会に参加することです。毎週さまざまな国の留学生が集まるので、いろいろな話を聞けてとても楽しいです。今



年の3月に新入生向けの留学プログラムでニュージーランドに行ったことも大きな刺激になりました。これからも音楽はもちろん、それ以外のことにも積極的にチャレンジして、充実した学生生活を送りたいと思います。』

⑦精華女子短期大学から保育士

赤峰奈々



『芸術緑丘高校で過ごした3年間はとても充実したものでした。素晴らしい環境の中でピアノや合奏など幅広い音楽を学ぶことができ、演奏会などを通して、とても貴重な経験をすることができました。進路選択では、学んできた音楽を続け子どもが好きだったことから、保育士を目指しました。夢が叶い現在では、保育士として働いています。キラキラ輝き日々成長していく子どもたちから、元気や勇気もらっています。緑丘で学んできた、音楽や人間性を生かし子どもたちと一緒に私自身も成長していきたいです。』

⑧看護師から音楽療法士を目指して

本田廣洋



中津ファビオラ看護学校准看護学科・看護学科卒業

特別医療法人 佐藤第一病院 勤務の後、現在、国立音楽院にて音楽療法を学ぶ。

『小さい頃から音楽が大好きでした。中学の時ボランティアで音楽療法と出逢いました。もっと音楽の勉強がしたいと思い緑丘高校に進学。大好きな音楽を通して創造力や感性を養うことができ、同時に大切な仲間に出逢うことができました。高校卒業後は医療の勉強をしたいと思い、看護学校へ進学し学業と病院での勤務を経て看護師国家試験に合格しました。看護学校卒業後は脳神経外科の看護師として日々働いています。看護師はとてもやりがいのある仕事です。辛いときもありますが患者さんの喜びを一緒に分かちあえることができるのも看護師になってよかったと思う瞬間です。今では病院内のコンサートや小学校へ命の授業を行ったりしています。また音楽療法の参加などもしています。緑丘高校は様々な可能性を引き出してくれる素敵な学校です。とても感謝しています。』

その他

- ・桐朋学園大学から三井住友銀行
- ・エリザベト音楽大学にて通信課程を利用し小学校一種を取得中。小学校教員を目指している。